

問1 土地や人民を国家が支配し、法に基づいて政治を行う仕組みを何という？

1. 官僚制 2. 封建制 3. 徴兵制 4. 律令制

問2 奈良時代末期に編纂された、現存する日本最古の歌集を何という？

1. 懐風藻 2. 古今和歌集 3. 万葉集 4. 新古今和歌集

問3 律令制において、中央政府から地方に派遣され、その地域の行政・司法・軍事を統括した役職を何という？

1. 地頭 2. 国司 3. 守護 4. 郡司

問4 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？

1. 沿岸警備 2. 軍事訓練 3. 徴兵制度 4. 辺境警備

問5 天皇を中心として、国司や郡司などの仕組みを整えて全国を支配した国家体制を何という？

1. 律令国家 2. 封建国家 3. 都市国家 4. 中央集権国家

問6 大伴家持が活躍し、万葉集がまとめられたのは何時代？

1. 平安時代 2. 奈良時代 3. 飛鳥時代 4. 鎌倉時代

問7 唐だけでなく、シルクロードを経由して日本に影響を与えた地域の文化を何という？

1. 中央アジア 2. 東南アジア 3. 東アジア 4. 西アジア

問8 郡司が指揮下に入っていた、中央から派遣された地方長官のことを何という？

1. 郡司 2. 防人 3. 国司 4. 里長

問9 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？

1. 寝殿造 2. 書院造 3. 数寄屋造 4. 校倉造

問10 聖武天皇が国分寺とともに、日本各地の女性のために建立させた寺院を何という？

1. 国分寺 2. 元興寺 3. 国分尼寺 4. 大安寺

問11 大化の改新以降、土地や人々はすべて天皇（国家）のものであるとする原則を何という？

1. 公地公民 2. 一国平均役 3. 土地台帳 4. 荘園公領制

問12 シルクロードを経て伝わった宝物や唐の工芸品が収められ、現在も東大寺にある施設は何という？

1. 東大寺 2. 正倉院 3. 興福寺 4. 大安寺

問13 朝廷が令制国ごとの土地の由来や産物などを記録させた地理書を何という？

1. 風土記 2. 日本書紀 3. 古事記 4. 万葉集

問14 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？

1. 新古今和歌集 2. 懐風藻 3. 古今和歌集 4. 万葉集

問15 戸籍に基づいて人々に口分田を与え、死後には国に返させるという奈良時代の土地制度を何という？

1. 三世一身法 2. 班田収授法 3. 墾田永年私財法 4. 公地公民制

問16 奈良時代の九州地方に派遣され、防衛の任務についた兵士を何という？

1. 兵士 2. 衛士 3. 防人 4. 健児

答え合わせ・解説

問1	答え 4 律令制	律令制は、中央に省を置く官僚機構や、地方への国司の派遣、戸籍をもとにした班田収授法などの制度によって構成されています。これにより、国家による土地と人民の直接的な統治が実現しました。
問2	答え 3 万葉集	万葉集は、奈良時代末期に大伴家持らによってまとめられたと言われる、日本最古の和歌集です。約4500首もの歌が収められており、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった庶民の歌も含まれているのが大きな特徴です。当時の人々の生活感情や社会の様子を知るための貴重な歴史資料となっています。
問3	答え 2 国司	「国司」は、朝廷から地方の「国」に派遣される長官です。その国の政治・裁判・軍事など全般を管理する非常に重要な職務でした。任期があり、現地の実務を担う郡司を指揮して効率的な地方支配を行いました。
問4	答え 1 沿岸警備	防人は、律令制における国防の要として、特に重要視された九州北部の防衛を任されました。農民の中から徴兵されて派遣されましたが、任期は長く、遠い故郷を離れて厳しい監視活動を行わなければなりませんでした。彼らの任務は国の平穏を守るための最前線でした。
問5	答え 1 律令国家	律令国家とは、法律（律と令）に基づき、官僚組織を整えて全国を支配する体制です。中央には太政官などの行政機関、地方には国・郡・里を設置し、中央から役人を派遣しました。この仕組みにより、戸籍を作成して人々に税を課し、中央政府が全国の土地と人民を把握する支配構造を実現しました。
問6	答え 2 奈良時代	奈良時代は、仏教文化が花開くとともに、国史の編纂や文学作品の執筆が盛んに行われた時期です。歌人である大伴家持はこの時代の末期に活躍し、彼を中心に日本最古の歌集である『万葉集』が編纂されました。この時代、国家が整い、大陸の文化を吸収しながら日本独自の個性を確立しようという気運が強まっていました。
問7	答え 4 西アジア	日本が派遣した遣唐使を通じて、唐には西アジアのペルシャ文化やインドの仏教美術などが流入していました。それらは日本にも伝わり、東大寺の正倉院に収められている宝物の中に、ガラス器や独特の模様が施された品々として確認できます。
問8	答え 3 国司	国司は、中央政府の意向を地方へ伝え、郡司を管理することで徴税や戸籍管理を行いました。郡司の実務を監視し、定期的に中央へ報告する義務がありました。
問9	答え 4 校倉造	校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。
問10	答え 3 国分尼寺	国分尼寺は、国分寺と同様に「鎮護国家」の願いを込めて建てられました。法華滅罪之寺とも呼ばれ、女性僧侶（尼）が修行を行い、祈りを捧げる場所でした。各地の国府の近くに建てられ、国分寺とともに仏教信仰の地域的拠点として重要な役割を果たしました。
問11	答え 1 公地公民	公地公民とは、すべての土地と人民を国家が直接管理し、公的なものとする原則です。これにより戸籍を作り、国民に田地を分け与えることで、税を徴収する仕組みを整えました。
問12	答え 2 正倉院	聖武天皇が亡くなった際、光明皇后が天皇をしのんで東大寺に奉納した品々を収めた校倉造りの建物です。楽器や鏡、美術品など、当時の国際交流を物語る非常に貴重な宝物が数多く保管されています。
問13	答え 1 風土記	風土記には、その土地の名前の由来、特産物、地形、古い伝承などが詳しく記されています。現存するものとしては、『出雲国風土記』が非常に詳しいことで知られています。
問14	答え 4 万葉集	万葉集は、現存する日本最古の和歌集です。歌人としても有名な大伴家持が編纂に大きく貢献したとされており、奈良時代末期までに完成しました。収録されている歌は、天皇から防人、農民まで非常に幅広い階層の人々によって詠まれたものであり、当時の多様な人々の感情や生活文化が生生きと表現されています。
問15	答え 2 班田収授法	班田収授法は、戸籍を作成して6歳以上のすべての人々に「口分田」と呼ばれる土地を分け与える制度です。受け取った人は、その見返りとして租・庸・調などの税を納める義務を負いました。本人が死亡したときには、その土地を国に返却する仕組みです。この土地制度により、国家による民衆の把握が徹底されました。
問16	答え 3 防人	防人は、大和朝廷が九州地方の防衛のために配置した兵士です。主に東国（現在の関東地方）の農民から徴兵され、長期間の任期で現地に派遣されました。万葉集には、故郷を離れる寂しさや任務の過酷さを歌った防人の歌が多く収められており、当時の人々の苦しい生活の様子を今に伝えています。